

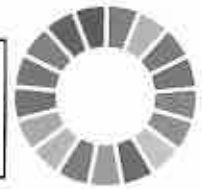
3年 国語 年間指導計画



月	単元	教材	学習内容	知・技	語・文・書	態度	学びのプラン	
4	1 深まる 学びへ	世界は美しいと	表現の特徴に注意し自分なりの感想を持ちながら読み深める	○	◎	○		
		握手	登場人物の言動や心情を表す表現を読み取る	○	◎	○	○	
		聞く 評価しながら聞く	自分の考えと比べたり表現に生かしたい点を意識しながら聞く		◎	○		
		季節のおしり 春	二十四節季などの言葉から伝統的な言語文化に親しむ	○	◎	○		
5	16	学びて時に之を習ふ	孔子の考えを読み取り、自分たちの生活に生かしたい言葉を伝え合い、自分の生活に生かす	○	◎	○	○	
		情報整理のレッスン 情報の信頼性	多様な方法で情報を集め、その情報を整理し考えをまとめ、一つの作品として紙面を作る	○	◎			
		文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する	編集会議、紙面構成を考え、修学旅行記を編集する	◎		○		
		漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	熟語の読み方を知り、さまざまな熟語の読み方を理解する	◎				
6	2 視野を 広げて	作られた「物語」を超えて	内容を読み取り、筆者の主張と論理の展開を捉え、理解する		◎	○	○	
		思考のレッスン2 具体化・抽象化	文章を読んだり書いたりする際の具体と抽象の関係について確認する		◎	○		
		読得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届けよう	聞き手の心を動かすスピーチの仕方を知り、井筒に生かす	◎				
		漢字に親しもう2	新出漢字を確認し、既習事項を確認する	◎				
7	3 言葉と ともに	実用的な文章を読もう	文法的な観点から表現を見直し、誤解を与えない表現を学ぶ		◎	○		
		俳句の可能性	俳句の意図があることを意識して読み比べる		◎	○		
		俳句を味わう	俳句の特徴を知り、俳句の内容を想像しながら読む		◎	○	○	
		俳句を味わう	俳句の特徴を生かして、俳句を詠み、自分なりに俳句を創作する	◎		○		
	読書生活 を豊かに	言葉を選ぼう▼もつと「伝わる」表現を目ざして	時代や世代によって、言葉は変化することを知り、相手や場面での適切な言い方について確認する	○	◎	○		
		言葉1 和語・漢語・外来語	和語、漢語、外来語、混種語について理解する	◎				
		読書を楽しむ	さまざまな読書の楽しみ方について知る		◎	○		
		私の一冊を探しに行こう	本や文章から多様な考え方を知り、自分の読書生活に生かす		◎			
9	4 状況の 中で	漢字コラム ためになるってどんなこと?	構成や場面の工夫に着目して作品を味わう		◎			
		季節のおしり 夏	夏を描いた作品を読み伝統的な言語文化に親しむ		◎			
		弁 論				◎	○	
		挨拶～原爆の写真によせて～	登場人物の描写などから人柄や心情を読み取る		◎	○	○	
10	5 自らの 考えを	故郷	家族のささやかな人間関係、社会の在り方について自分の考えを持つ		◎	○	○	
		聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	効果的に伝わるように表現を工夫して手紙を書く	○	◎	○		
		推敲 論理の展開を考える	文章を読み、言葉の使い方や表記の誤りについて話し合う	○	◎	○		
		言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	慣用句、ことわざ、故事成語について理解する	◎				
11	6 いにし えの心 を受け継ぐ	漢字2 漢字の造りかた 漢字に親しもう3	新しい日本語が考え出された経緯と翻訳語を知る		◎			
		人工知能と未来	内容の信頼性や客観性を確かめながら要旨を捉える		◎	○	○	
		多角的に分析して書こう 読得力のある批評文を書く	地域社会の中から題材を決め、客観的に分析して批評文を書く	○	◎	○		
		漢字に親しもう4	2年までの常用漢字に加え、その他の常用漢字を読む		◎			
12	7 価値を 生み出す	「議論」話し合いを効果的に進める	話し合いを効果的に進めるポイントに注意して議論や討議をする		◎	○		
		音読を楽しもう 「初恋」	言葉の響きやリズムを味わいながら、詩を朗読する	○	◎	○		
		季節のおしり 秋	秋の和歌、俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ		◎			
		和歌の世界	歴史的仮名遣いに気をつけながら三代歌集について興味をもつ		◎	○		
1	8 未来へ 向かって	古今和歌集 仮名序	和歌を植物の種と葉に例えていることを知り、作者が和歌をどう捉えていたかを知る		◎	○		
		君待つと 万葉・古今・新古今	和歌の内容を学び、心に響いた和歌を一首選び、鑑賞する	○	◎	○	○	
		夏草	芭蕉のものの見方や感じ方に触れ、芭蕉の思いを想像する	○	◎	○	○	
		誰かの代わりに	筆者の考え方を理解し、自分の考えをもつ		◎	○	○	
2	9 読書に 親しむ	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	熟語、慣用句、ことわざ、故事成語などを理解する		◎			
		文法への扉2 「ない」の違いがわからない	「ない」の文法上の違いを理解する		◎			
		エルサルバドルの少女 ヘース	作品を読み、登場する人物の生き方について自分の考えをもつ		◎	○		
		紛争地の看護師	困難な状況の中で生きる人々や世界で活躍する人々について考える		◎	○		
1	10	季節のおしり 冬	冬の気象にまつわる言葉や情景を詠んだ俳句、詩、名文を読む		◎			
		温かいスープ	筆者の考える「国際性」とは何かを読み取り、自分なりに考える	○	◎			
2	11	わたしを束ねないで	作者の思いを想像し、自分たちの可能性について考え、話し合う		◎			
		三年間の歩みを振り返ろう	印象に残っている学習について3年間を振り返り、書いたり発表したりする		◎			
2	12	漢字に親しもう6	送り仮名、対義語、類義語既習の学習を思いだし、まとめをする		◎			
		学習を振り返ろう	3年間の学習を振り返る		◎	○		

【教科目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。



【評価の観点】

知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【評価の方法】

知識・技能	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題への取り組み
思考・判断・表現	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題における思考及び表現力
主体的に学習に取り組む態度	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題における取り組み

【学習方法】

- ・授業準備をしっかりと行い、積極的に発言し、熱心に話し合い活動や作業を進める。
- ・板書を写すだけでなく、教師や級友の発言をメモしたり、調べたことをノートに書き込む等、工夫する。
- ・ワークシートでの作業や課題を自ら積極的にに行い、黒板を写すだけにならないようにする。
- ・授業中に文字の色や声、資料の貼り付けなどで強調したところから重点的に学習を進めていく。
- ・ニュースや新聞などから、学習内容と日常生活の関連を見つけ出し、社会の動向を探る姿勢を持つ。

# 第3学年

月時数		歴史的分野	知識	思考	主体的	MP	キャリア	SDG	
前期 (66)	4	9	第6章 二度の世界大戦と日本 【19】			MP	課	16	
			1 第一次世界大戦と民族独立の動き (5)	<input type="checkbox"/>					
			2 大正デモクラシー (3)	<input type="checkbox"/>					
			3 恐慌から戦争へ (5)	<input type="checkbox"/>					
	5	15	4 第二次世界大戦と日本の敗戦 (4)	<input type="checkbox"/>					
			学習のまとめと表現 (2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			第7章 現代の日本と世界 【14】			MP			
			1 日本の民主化と冷戦 (4)	<input type="checkbox"/>					
			2 世界の多極化と日本 (4)	<input type="checkbox"/>					
			3 冷戦の終結とこれからの日本 (4)	<input type="checkbox"/>					
6	16	学習のまとめと表現 (2)	<input type="checkbox"/>						
		◆歴史学習の終わりに 【3】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
公民的分野									
		第1章 私たちの暮らしと現代社会 【10】				キャ			
		学習のはじめに 現代の社会ってどんな社会だろう (1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		1 私たちが生きる現代社会 (3)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		2 現代につながる伝統と文化 (2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
7	9	3 私たちがつくるこれからの社会 (4)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		予備 【3】							
後期 (74)	9	16	第2章 人間を尊重する日本国憲法 【17】				自	10	
			学習のはじめに 日本国憲法の最も大切な考え方はなんだろう (1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			1 日本国憲法の成り立ちと国民権 (3)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			2 憲法が保障する基本的人権 (11)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			3 私たちと平和主義 (2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	10	16	第3章 私たちの暮らしと民主政治 【18】						
			学習のはじめに 地方議会ウォッチングに行こう (1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			1 民主政治と日本の政治 (5)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			2 三権分立のしくみと私たちの政治参加 (8)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			3 地方自治と住民の参加 (4)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
11	16	第4章 私たちの暮らしと経済 【17】							
		1 消費生活と経済活動 (3)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		2 企業の生産のしくみと労働 (5)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		3 市場のしくみとはたらき (2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
12	10	4 金融のしくみと財政の役割 (6)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
		予備 【6】							
1	12	第5章 安心して豊かに暮らせる社会 【8】				キャ			
		学習のはじめに 「持続不可能」から「持続可能」へ (1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		1 暮らしを支える社会保障 (4)	<input type="checkbox"/>						
		2 これからの日本経済の課題 (3)	<input type="checkbox"/>						
		第6章 国際社会に生きる私たち 【14】							
		学習のはじめに 私たちの15年を振り返ってみよう (1)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		1 国際社会の平和を目指して (6)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		2 国際社会が抱える課題と私たち (7)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		終章 私たちが未来の社会を築く 【4】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		1 持続可能な未来の社会へ (4)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		予備 【7】							
#		歴史 36 / 公民 88 【予備 16】							

## 3 学年 数学の学習

川崎市立田島中学校 数学科  
担当者 岩田尚之 小林一之

### 1. 教科目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の課程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

### 2. 評価の観点とその趣旨

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。

### 3. 評価の方法

#### 「知識・技能」の評価

〈評価資料〉

- ・ 定期テスト      ・ 小テスト                  ・ Mathトレテスト
- ・ 学習課題（プリント）の内容      ・ 授業観察

#### 「思考・判断力・表現」の評価

〈評価資料〉

- ・ 定期テスト      ・ 小テスト                  ・ Mathトレテスト
- ・ 学習課題（プリント）の内容      ・ 授業観察

#### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

〈評価資料〉

- ・ 学習記録（学習課題、レポート、ノート、学びのプラン、問題集への取り組みの様子）
- ・ 授業観察（授業の取り組みの様子、助け合い活動での様子）

# 令和7年度 数学科 第3学年 年間指導計画

担当 岩田尚之 小林一之

月	章	単元	学習の内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度	キャリア	SDGs	MP
4	1 章 式 の 計 算	1 多項式の乗法、除法 ・多項式と多項式の乗法、除法 ・多項式の乗法 ・乗法の公式	・多項式と単項式の乗法、多項式動詞の乗法を理解し、乗法の公式を利用した展開ができる。	○	◎			SGDs 4	MP 各章 ごと
		2 因数分解 ・因数分解 ・乗法の公式を利用する因数分解	・因数分解の意味を理解し、多項式の因数分解ができる。	○	◎				
		3 式の活用 ・式の活用	・展開や因数分解を利用し、数や図形の性質を調べることができる。		○	◎	キャ		
6	2 章 平 方 根	1 平方根 ・2乗するとaになる数 ・有理数と無理数	・平方根の必要性和意味を理解し、大小関係や近似値の求め方を理解する。	◎	○	○			
		2 平方根の計算 ・平方根の乗法、除法 ・平方根の加法、減法 ・平方根のいろいろな計算	・平方根を含む四則計算ができる。	○	◎			SDGs 4	
		3 平方根の活用 ・平方根の活用 ・近似値と有効数字	・平方根を使って問題を解決することができる。 ・誤差・有効数字の意味を理解し、表現する。	◎	○		キャ		
8	3 章 2 次 方 程 式	1 2次方程式とその解き方 ・2次方程式とその解 ・因数分解による解き方	・2次方程式とその解の意味を理解する。 ・2次方程式をその形に応じて適切な方法を選んで解くことができる。	○	◎				
		2 2次方程式の活用 ・2次方程式の活用	・2次方程式を具体的な場面で使うことができる。		○	◎	キャ		
		3 2次方程式の活用 ・2次方程式の活用	・2次方程式を具体的な場面で使うことができる。		○	◎	キャ		
10	4 章 関 数 $y=ax^2$	1 関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ のグラフ ・関数 $y=ax^2$ の値の変化 ・関数 $y=ax^2$ の活用 ・いろいろな事象と関数	・2乗に比例する関数の意味を理解し、グラフや変化の割合をもとに、関数の特徴を理解する。 ・具体的な事象の中からいろいろな関数を見だし、変化の様子や対応を考えることができる。	◎	◎	○		課	
		2 関数 $y=ax^2$ の活用 ・関数 $y=ax^2$ の活用	・関数 $y=ax^2$ の活用		○	◎	キャ		
		3 関数 $y=ax^2$ の活用 ・関数 $y=ax^2$ の活用	・関数 $y=ax^2$ の活用		○	◎	キャ		
11	5 章 相 似 な 図 形	1 相似な図形 ・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・三角形の相似条件と証明	・図形の拡大、縮小を通して、相似な図形の意味とその性質を理解することができる。 ・相似条件、相似な図形の性質を使って図形の性質の証明、距離や高さを求めることができる。	◎	○	◎			
		2 平行線と線分の比 ・三角形と比 ・中点連結定理 ・平行線と線分の比	・三角形と比、平行線と線分の比の定理、中点連結定理を理解し、事実問題の解決に利用できるようにする。	○	○				
		3 相似な図形の面積の比と体積の比 ・相似な平面図形の面積 ・相似な立体の表面積と体積	・基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解することができる。	◎	○			課	
12	6 章 円	1 円周角 ・円周角 ・円周角の定理の逆	・円周角と中心角の関係の意味を理解し、それを証明することができる。	◎					
		2 円周角の定理の活用 ・円周角の定理の活用	・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	○	○	○	キャ		
1	7 章 三 平 方 の 定 理	1 三平方の定理 ・三平方の定理 ・三平方の定理の逆	・三平方の定理とその逆を理解し、空間内の長さや面積、体積を求めることができる。	◎	○			SDGs 4	
		2 三平方の定理の活用 ・平面図形への活用 ・空間図形への活用	・三平方の定理を使って、いろいろな線分の長さを求めることができる。		◎	○	キャ		
2	8 章 標 本 調 査	1 標本調査 ・標本調査 ・標本調査の活用	・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明する。	○	○	◎	課		

## 3 学年 理科の学習

川崎市立田島中学校 理科

担当者 村松 征泉

### 1. 教科目標

科学的な見方・考え方を育てるための学習内容を考え、深い学びにつながる授業の工夫をする。

### 2. 評価の観点とその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	事物・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

#### (1) 第1分野

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質やエネルギーに関する観察、実験などを行い、それらの事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質やエネルギーに関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	物質やエネルギーに関する事物・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

#### (2) 第2分野

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命や地球に関する観察、実験などを行い、それらの事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生命や地球に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	生命や地球に関する事物・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### 3. 評価の方法

#### (1) 内容のまとめ

##### [第1分野]

イ.身近な物理現象    ロ.身の回りの物質    ハ.電流とその利用    ニ.化学変化と原子・分子  
ホ.運動とエネルギー    ヘ.化学変化とイオン    ト.科学技術と人間

##### [第2分野]

イ.いろいろな生物とその共通点    ロ.大地の成り立ちと変化    ハ.生物の体のつくりと働き  
ニ.気象とその変化    ホ.生命の連続性    ヘ.地球と宇宙    ト.自然と人間

上に示した新学習指導要領の第1分野および第2分野の項目イ～トを内容のまとめとします。そのまとめごとに設定されている評価規準に従い、前頁2に示した3つの観点ごとにA<sup>+</sup>、A、B、C<sup>+</sup>、Cの5段階で評価します。具体的な方法を次に示します。

#### (2) 観点別評価の趣旨と方法

##### 「知識・技能」の評価

目的意識を持って観察・実験に取り組み、正しく操作しながら行えたか、結果をしっかりと処理できたかを評価します。

##### 〈評価資料〉

実験レポートの方法、結果の内容。実験・観察中の取り組み。実験器具の基本的操作の習得ができていかなど。各種テスト（定期テスト、小テストなど）の結果。

##### 「思考・判断力・表現」の評価

実験や観察の結果に対して、自分の考えをまとめる力、科学的な表現力が養われているかを評価します。

##### 〈評価資料〉

各種テスト（定期テスト、小テストなど）の結果。実験レポートの考察の内容。

##### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

身のまわりの事象・現象に対する関心や、理科の学習（座学・実験等）に取り組もうとする意欲や態度を評価します。

##### 〈評価資料〉

実験レポートの振り返りの内容。発言や発表などの学習活動の状況、夏の自由研究における取り組み。



令和7年度 第3学年 理科年間指導計画

担当 村松 征泉

月	単元	章	学習内容	評価			学習の プラン	
				知	思	主		
4月 (11)	[エネルギー] 運動と エネルギー (33)	どのようなときに運動がはじまるのだろうか						
		1章 力のつり合い	1 水中の物体にはたらく力 2 力の合成 3 力の分解	◎◎	◎	◎	MP①	
5月 (16)		2章 物体の運動	1 物体の運動の表し方 2 水平面上での物体の運動 3 斜面上の物体の運動 4 物体間での力のおよぼし合い	◎◎	◎	◎		
		3章 仕事とエネルギー	1 仕事 2 エネルギー 3 位置エネルギーと運動エネルギー	◎◎	◎	◎		
		4章 多様なエネルギーと その移り変わり	1 エネルギーの種類 2 エネルギーの変換と保存	◎◎	◎	◎	MP②	
6月 (19)		5章 エネルギー資源とその利用	1 生活を支えるエネルギー 2 エネルギー利用上の課題 3 エネルギーの有効利用	◎◎	◎	◎		
	未来の生活 スマートコミュニティ							
	補充・深化(4)							
7月 8月 (18)	[生命] 生命の連続性 (14)	つながる生命						
		1章 生物の成長	1 生物の成長 2 生物のふえ方	◎◎	◎	◎		
		2章 遺伝の規則性と遺伝子	1 親から子への特徴の伝わり方 2 遺伝子の本体	◎◎	◎	◎	MP②	
		3章 生物の種類の多様性と進化	1 生物の共通性と多様性 2 進化の証拠 3 生物の移り変わりと進化	◎◎	◎	◎		
	江戸時代のバイオテクノロジー							
	補充・深化(3)							
9月 (13)	[物質] 化学変化と イオン (25)	水素と酸素から電気をつくる						
		1章 水溶液とイオン	1 水溶液にすると電気を通す物質 2 電解質の水溶液に電流を通したときの変化 3 電池のしくみ	◎◎	◎	◎	MP③	
		2章 電池とイオン	1 金属イオンへのなりやすさ 2 電池のしくみ 3 日常生活と電池	◎◎	◎	◎		
10月 (16)	[環境] 自然と人間 (24)	3章 酸・アルカリと塩	1 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 2 酸性やアルカリ性の性質を決めているもの 3 酸性・アルカリ性の強さ 4 酸とアルカリを混ぜたときの変化 5 イオンで考える中和	◎◎	◎	◎	MP④	
		光で化学変化を進める「光触媒」						
	補充・深化(4)							
11月 (10)	[地球] 宇宙の中の 地球 (20)	地球はどのような天体なのだろうか						
		1章 宇宙の天体	1 太陽 2 太陽系 3 宇宙の広がり	◎◎	◎	◎	MP⑤	
		2章 太陽と恒星の動き	1 太陽の動き 2 星座の星の動き	◎◎	◎	◎		
		3章 月と金星の動きと見え方	1 月の動きと見え方 2 金星の動きと見え方	◎◎	◎	◎	MP⑥	
12月 (12)	補充・深化(4)							
	[環境] 自然と人間 (24)	山と海に広がる森						
		1章 自然界のつり合い	1 生物どうしのつながり 2 生態系における生物の数量的関係 3 生物の遺骸のゆくえ 4 生物の活動を通じた物質の循環	◎◎	◎	◎		
1月 (15)		2章 さまざまな物質の利用と人間	1 天然の物質と人工の物質 2 プラスチック	◎◎	◎	◎	MP⑦	
		3章 科学技術の発展	1 科学技術の発展の歴史 2 現在のくらしとこれからの科学技術 3 人間の活動と自然環境	◎◎	◎	◎		
		4章 人間と環境	1 身近な自然環境の調査 2 自然が日本の生活におよぼす影響	◎◎	◎	◎		
2月(8)	5章 持続可能な社会をめざして 地球とともに生きる							
	補充・深化(4)							



1) 教科目標

外国語を通じて、言語に対する理解を深め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2) 評価規準

観点	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
観点 の 趣旨	<p>【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を正確に理解している。</p> <p>【技能】 <u>聞くこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p><u>読むこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p><u>話すこと（やりとり・発表）</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。</p> <p><u>書くこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p><u>聞くこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてははっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p><u>読むこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p><u>話すこと（やりとり・発表）</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、話したりしている。</p> <p><u>書くこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。</p>	<p><u>聞くこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞き取ろうとしている。</p> <p><u>読むこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p><u>話すこと（やりとり・発表）</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしたり、話そうとしたりしている。</p> <p><u>書くこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>
評価 資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングテスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングテスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・言語活動の取組</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の取組</li> <li>・ノート</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>

人間関係形成・社会形成能力 キャリアプランニング能力 課題対応能力

Unit 1 Virtual Safari Tour / Daily Life 1			キャリア 課題対応能力	SDGs	学びの プラン
単元目標: 記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる。 記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる。	時間 /時期	9/4, 月	課題対応能力		
言語材料: let/help+人・もの+動詞の原形 tell+人+that+文、受け身の文	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 /相槌を打つ, 説明する, 質問する				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					
Unit 2 Our School Trip / Daily Life 2 / Active Grammar 1			人間関係形成・ 社会形成能力		MP ①
単元目標: 話し合いを聞いて、話し手の意見の要点を捉えることができる。 聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。	時間 /時期	9/5 月			
言語材料: 現在完了形「完了」、「経験」	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 / 話しかける, 礼を言う, 描写する				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					
Unit 3 Lessons From Hiroshima / Let's Read 1 / World Tour 1 / You Can Do It! 1			課題対応能力		
単元目標: ある人物の手記を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 読んだ手記の感想や考えをレポートに書くことができる。	時間 /時期	9/6 月			
言語材料: 現在完了形「継続」、現在完了 進行形、疑問詞+to+動詞の原形	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 / 説明する, 報告する, 意見を言う, 質問する				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					
Unit 4 AI Technology and Language / Let's Read 2 / Daily Life 3			課題対応能力		
単元目標: 投稿文を読み、それぞれの意見の要点を捉えることができる。 読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書くことができる。	時間 /時期	9/9 月			
言語材料: 関係代名詞 which, who, that が 主語となる構文	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動, 説明する, 意見を言う				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					
Unit 5 My Dreams for the Future / Daily Life 4			キャリア プランニング能力		MP ②
単元目標: プレゼンテーションの原稿を読み、概要を捉えることができる。 調べたことや自分の考えを、順序立てて発表することができる。	時間 /時期	9/10, 11 月			
言語材料: 関係代名詞 which, that が目的語 になる文や、文による後置修飾	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動, /発表する, 意見を言う				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					
Unit 6 The Chorus Contest / Active Grammar 2 / You Can Do It! 2			人間関係形成・ 社会形成能力		
単元目標: おすすめの作品について話を聞き、おおまかな内容を捉えることができる。 おすすめの商品について、詳しい情報を伝え合うことができる。	時間 /時期	9/11, 12 月			
言語材料: 動詞の ing 形、過去分詞形による後置 修飾、間接疑問文	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動/相づちを 打つ, 褒める, 説明する, 意見を言う, 質問する				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					
Unit 7 Tina's Speech / World Tour 2 / Let's Read 3			キャリア プランニング能力		MP ③
単元目標: スピーチを聞いて、伝えている内容の要点を捉えることができる。 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをすることができる。	時間 /時期	9/1 月			
言語材料: If I could ~, や I wish I could ~, の 仮定法	言語の使用場面/働き: 学校での学習や活動 / 発表する, 仮定する				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					
Unit 8 Goodbye, Tina / You Can Do It! 3 / Let's Read More 1-3			人間関係形成・ 社会形成能力		
単元目標: 手紙から、書き手が伝えたい気持ちを読み取ることができる。 表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。	時間 /時期	9/2, 3 月			
言語材料: 既習の表現・語句の意味や働き	言語の使用場面/働き: 手紙のやり取り / 相づちをうつ, 礼 を言う, 約束する, 命令する				
評価基準 ア、イ、ウ、エ					

\*なおミニラウンド制カリキュラムで Unit1~3, Unit4~6, Unit7~8 のまとまりで期間内の繰り返しの指導を行い、各ラウンドのまとめとして Story retelling や You Can Do It! の活動を行う。

# 音楽の学習・評価について

○音楽（3年生）の学習内容



月	単元名	学習内容	知識技能	思・判・表	主体的	MP
4	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう 「花」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。	◎	◎	○	
5	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう 我が祖国より「モルダウ」	○「ブルタバ」の曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、オーケストラの豊かな響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。	○	◎	○	○
6	音の重なり方や反復、変化を生かして、創作表現を工夫しよう 「クラッピング・ラブソディ」	○音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を感じ取る。	○	○	◎	
7	美しく豊かな響きで曲にふさわしい表現を工夫しよう 「合唱コンクール課題曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	
8 ・ 9 ・ 10	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクール課題曲」 「合唱コンクール自由曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	
11	オペラに親しみ、その魅力を味わおう 「フィガロの結婚」	○曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、オーケストラの豊かな響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。	○	◎	○	
11	日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう 「能」	○我が国の郷土の伝統音楽の特徴に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むとともに、伝統音楽に親しむ態度を養う。	◎	○	○	○
12	和楽器の音色に親しみ、二重奏を創作しようー争ー 「さくらさくら」	○創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 ○音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を感じ取り創作をする。	○	○	◎	
1 ・ 2 ・ 3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 「3年生を送る会合唱曲」 「卒業式に向けた合唱曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	

川崎市立田島中学校 「美術科」学習案内  
川崎市立田島中学校 「美術科」年間学習計画

担当者： 柳野修平

【学習目標】

1年生

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を養う。

2・3年生

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【評価の観点の趣旨】

観点	1年	2・3年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>・意図に応じて表現方法を工夫して表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的にも表している。</li> </ul>
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト</li> <li>・制作過程における作業状況（見直しなど）</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り</li> <li>・アイデアスケッチ、下描き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞のワークシート</li> <li>・テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り</li> <li>・アイデアスケッチ、下描き</li> </ul>

※定期試験は実施しません。授業内で実技を含めたテストを実施します。

○授業や家庭での心がけについて

- ・理解した知識は使うことで、技能となります。

→目標を達成するように自分なりに考え手を動かすことを積み重ねることで、力は身に付きます。

- ・色や形をもったものの造形的なよさや働きについて、より深く考えます。

→色や形をもったものは世の中にたくさんあります。

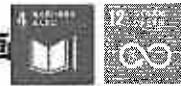
日常的に目に入ったものの色や形に関心をもって見ることを習慣づけることで、発想が豊かになります。

- ・毎回の授業を大切にします。

→美術の授業は週に1～2回あります。授業に集中して取り組むことで目標を達成することが可能です。毎時間の目標をしっかりと聞き、何をすべきかを把握して授業に粘り強く取り組む姿勢を評価します。

○家庭では

美術科では身の周りがある、色や形を使って自分の考えることや思いをイメージとして伝えることを目標にしています。素晴らしい芸術作品を作ることが教科の目標ではありません。身近にある美術的な役割を理解し、言葉と同じように色や形などを使って自分自身を表現してみましょう。そして、それがうまく表現できるようになる為に様々な技術や知識を学んでいく教科です。自分から取り組んでいこうとする姿勢を大切



月	題材名	学習内容	MP
4月	<b>【鑑賞】</b> 生活や社会を美しく豊かにする働きや、 美術文化に関する鑑賞活動	作品の鑑賞を通して社会の中で活躍する美術や美術文化について理解を深める。	
5月			
6月	<b>【パッケージデザイン】</b> 伝える、使うなどの目的や機能を考え、 デザインに表現する活動	商品のイメージを基に、形や色彩で魅力が伝わるように表現する。	MP
7月			
8月			
9月	<b>【合唱曲アート】</b> 感じ取ったことや考えたことなどを基に、 絵に表現する活動	合唱曲のイメージを基に、アニメーションの技法を用いて表現する。	
10月	<b>【篆刻】</b> 伝える、使うなどの目的や機能を考え、 工芸などに表現する活動	印鑑文化について理解を深め、自分の証となる名前のイメージを基に、篆書体を用いて表現する。	MP
11月			
12月			
1月	<b>【ポーリング】</b> 知識・技能を高める活動	美術に必要な技法について理解を深める。	
2月	X	X	X
3月			
*材料や行事等により一部変更の可能性があります。			

## 保健年間指導計画及び評価規準(3年)

年間の授業を通して個人生活における健康・安全について、基本的な技能を身につけるために、GIGA端末を使用し「思考・判断・表現」の材料として活用していく。また、授業を通して「主体的・対話的で深い学び」につなげていく。

学期	月	(領域) 単元名	時間	学習内容	評価の観点					
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	学びのプラン	SDGs	
前期	4	健康と環境	1	環境への適応能力	・身体には、環境に適応してある程度までの適応能力があることを理解する。 ・適応能力を超えた環境は健康に影響を及ぼすことがあることを理解する。					3 
	5		活動に対する環境	・快適で能率の良い生活を送るための温度、湿度、明るさには一定の範囲(至適範囲)があることを理解する。					3 	
	6		熱中症の予防と手当	・熱中症は、主体、環境、運動の3つの要因が関わり合っていることを理解する。 ・暑熱環境に身体が適応できなくなったときに症状が現れ、死亡することもあることを理解すること。					3 	
	6		飲料水の衛生的管理	・飲料水は健康と密接な関わりがあることを理解すること。 ・飲料水を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを理解すること。					6 	
	7		室内の空気の衛生的管理	・空気は健康と密接な関わりがあることを理解すること。 ・室内の空気を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを理解すること。					3 	
	8		生活にともなう廃棄物の衛生的管理	・人間の生活、産業、自然災害などによって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解する。					11 	
	9		放射能と健康	・放射線の特性を生かし、医療、農業、工業などで利用していることを理解する。 ・空気や水などの環境が放射線で汚染されると健康への影響が懸念されることを理解する。				○	16 	
	10		感染症の広がり方	・感染症は病原体が主な要因となり発生することを理解する。 ・感染や発病には人の条件だけではなく、自然環境や社会環境も関わっていくことを理解する。					3 	
	後期		11	健康な生活と疾病の予防	1	感染症の予防	・感染症の多くは、発生源をなくすこと、感性経路を遮断すること、体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する。			
12		性感染症の予防	・性感染症のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを理解する。						3 	
12		エイズの予防	・エイズの予防にはHIV感染のリスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを理解する。					○	3 	
1		医薬品の利用	・医薬品を効果的に使用するためには、医師や薬剤師の指示に従うこと、注意書きや説明書を読んで正しくしようすることが必要であることを理解する。						3 	
1		保健・医療機関の利用	・健康の保持増進、疾病や怪我の回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関や医療機関を利用することが有効であることを理解する。						11 	
2		健康を守る社会の取り組み	・健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人の取り組みとともに、社会のさまざまな取り組みによって解決が図られていることを理解する。					○	11 	
2		保健の学習を振り返ろう	・生活にわたって健康的な生活を送るためには、個人の努力と社会全体でそれを支援することが重要であると理解する。						3 	
3										

## 体育 年間指導計画 評価規準(3年)

年間の授業を通して技能向上を目指すためにGIGA端末を使用し「思考・判断・表現」の材料として活用していく。

また、授業を通して「主体的・対話的で深い学び」につなげていく。

学期	(領域) 単元名	時間	学習内容	時数	評価の観点					SDGs
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	キャリア教育	学びのプラン	
前期	体育理論	3	・運動やスポーツの必要性和楽しさ	1	◎	○	○			
			・運動やスポーツへの多様なかわり方	2	◎	○	◎	(キ)	○	
			・運動の特性と学び方	3	◎	○	◎			
	体づくり運動	7	・体ほぐしの運動	1	○	○	○			
			・体力を高める運動	2・3	○	○	○			
・やわらかさと巧みな動きを高める運動			4・5	◎	○	◎	(自)	○		
			・力強い動きや動きを継続する 能力を高める運動	6・7	◎	○	◎			
陸上競技	11	・短距離走・リレー	1~2	○	○	◎				
		・ハードル走・長距離走 ・走り幅跳び・走り高跳び	3~6 7~11	◎	◎	◎	(人) (課)	○		
器械運動	11	・マット・跳び箱	1~4	○	○	○				
		・鉄棒・平均台	5~8 9~11	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	(人) (課)	○		
ダンス	12	・ダンス	1~4	○	○	○				
			5~8	◎	◎	◎	(人) (課)	○		
			9~12	◎	◎	◎				
後期	球技	12	・バレーボール	1~4	○	○	○			
				5~8	◎	◎	◎	(人) (課)	○	
				9~12	◎	◎	◎			
	球技	12	・サッカー	1~4	○	○	○			
				5~8	◎	◎	◎	(人) (課)	○	
9~12				◎	◎	◎				
球技	12	ソフトボール	1~4	○	○	○				
			5~8	◎	◎	◎	(人) (課)	○		
			9~12	◎	◎	◎				
球技	12	バスケットボール	1~4	○	○	○				
			5~8	◎	◎	◎	(人) (課)	○		
			9~12	◎	◎	◎				
武道	12	・柔道	1~4	○	○	○				
			5~8	◎	◎	◎	(人) (課)	○		
			9~12	◎	◎	◎				

<技術分野>指導と評価の計画【B生物育成の技術】（1年、2年、3年）



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会を支える生物育成の技術	4	<p>○生物を育てる技術の目的について理解する。</p> <p>○地域で生産されている特産物とその特徴について調べ、まとめることができる。</p> <p>○作物の育成環境を調整する技術について理解する。</p> <p>○育成環境を工夫し、スプラウトを育成することができる。</p> <p>○作物の成長を管理する技術とその目的について考えることができる。</p> <p>○成長を管理する技術とその目的について考えることができる。</p> <p>○動物を健康に育てるための技術について理解する。</p> <p>○動物を育てる管理技術について、関連付けて考えることができる。</p> <p>○水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解する。</p> <p>○天然魚と養殖魚について考えることができる。</p> <p>○生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</p>	<p>○生物を育てる技術の目的について理解している。</p> <p>○作物の育成環境を調整する技術について理解している。</p> <p>○育成環境を工夫しスプラウト（1年）・トマト（2年）・二十日大根（3年）を育成することができる技能を身に付けている。</p> <p>○作物の成長を管理する技術について理解している。</p> <p>○動物を健康に育てるための技術について理解している。</p> <p>○水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。</p>	<p>○生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、「技術見方・考え方」に気付くことができる。</p>	<p>○主体的に生物育成の技術について考えようとしている。</p>
生物育成の技術による問題解決	8	<p>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を見出すことができる。</p> <p>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</p> <p>○育成する作物に適した環境条件を考えることができる。</p> <p>○育成する目的に合わせて、栽培計画を立てることができる。</p> <p>○植物の成長の様子などを適切に観察し、記録することができる。</p> <p>○植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行うことができる。</p> <p>○育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えることができる。</p>	<p>○育成する作物に適した環境条件について考えている。</p> <p>○育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。</p> <p>○植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。</p> <p>○育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を見出し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</p>	<p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとする。</p>
社会の発展と生物育成の技術	3	<p>○生物育成の技術の最適化について考えることができる。</p> <p>○生物育成の技術の光と影について考えることができる。</p> <p>○これからの生物育成の技術について考えることができる。</p>	<p>○生物育成の技術の概念について理解している。</p>	<p>○生物育成の技術の最適化について考えている。</p> <p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</p>	<p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</p>

MP

実習時に再度MPを配布する場合があります。

<技術分野>指導と評価の計画【情報の技術】（2年、3年）

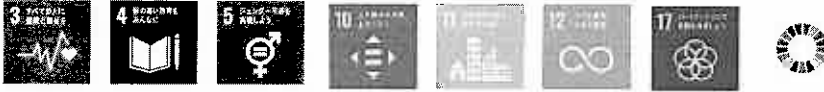


小題 時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
3 生活や社会を支える情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の表現や記録ができる仕組みを理解する。</li> <li>○情報の技術によって生活や社会がどのように変化してきたかを考えることができる。</li> <li>○情報のデジタルの仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係を理解する。</li> <li>○情報をデジタル化するときの最適な方法を考えることができる。</li> <li>○情報ネットワークの構成について理解する。</li> <li>○情報ネットワーク上で情報を利用する仕組みを理化する。</li> <li>○情報の特性を理解して情報を安全に利用できる。</li> <li>○情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付ける。</li> <li>○情報セキュリティの基本的な知識について理解する。</li> <li>○情報の安全を理解するために必要な判断や対応ができる。</li> <li>○身の回りにある情報の技術の工夫点について理解する。</li> <li>○情報の技術に込められた工夫について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。</li> <li>○情報のデジタルの仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係を理解している。</li> <li>○情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。</li> <li>○情報通信ネットワークの構成について理化している。</li> <li>○情報通信ネットワーク上で情報を利用する仕組みについて理解している。</li> <li>○情報の特性を理解して、情報を安全に利用できる知識を身に付けている。</li> <li>○情報セキュリティの基本的な知識について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</li> <li>○情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に情報の技術について考えようとしている。</li> <li>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとしている。</li> </ul>
6 双方向性のあるコンテンツの制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>○双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理化する。</li> <li>○双方向性のあるコンテンツの利用方法を考えることができる。</li> <li>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。</li> <li>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</li> <li>○安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる。</li> <li>○情報処理の手順を具体化することができる。</li> <li>○コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。</li> <li>○安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技術を身に付けている。</li> <li>○コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</li> <li>○情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に情報の技術について考えようとしている。</li> <li>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとしている。</li> </ul>
14 計画制御に関するプログラムの制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計測・制御システムの基本的な構成を理解する。</li> <li>○計測・制御システムにおけるプログラムを理解する。</li> <li>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。</li> <li>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</li> <li>○入出力されるデータの流れをもとに、計測・制御システムを構築する。</li> <li>○情報処理の手順を整理することができる。</li> <li>○安全で適切なプログラムの制作と、動作の確認、デバッグができる。</li> <li>○情報処理の手順を具体化する。</li> <li>○計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計測・制御システムの基本的な構成を理解している。</li> <li>○計測・制御システムにおけるプログラムを理解している。</li> <li>○入出力されるデータの流れをもとに、計測・制御システムを構築する力を身に付けている。</li> <li>○安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技術を身に付けている。</li> <li>○計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</li> <li>○情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に情報の技術について考えようとしている。</li> <li>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</li> <li>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとしている。</li> </ul>
3 社会の発展と情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の技術の最適化について考えることができる。</li> <li>○情報変換の技術の光と影について考えることができる。</li> <li>○これからの情報の技術について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の技術の概念について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報の技術の最適化について考えている。</li> <li>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</li> </ul>

MP

突習時に再度MPを記布する場合があります。

(家庭分野) 指導と評価の計画【A家族・家庭生活】 《1・3年》



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
ガイダンス	1年4	○家庭分野の学習内容に見直しをつける。 ・3年間の学習活動を概観する。 ○生活が支えられていることに気づき、自立を意識する。 ・生活の自立に向けて努力すべき点を検討する。	○自分の成長を振り返り、自分自身の生活が家族や地域の人々に支えられていることを理解している。		○自分自身の生活を振り返り、生活の自立に向けてできることを考えようとしている。
自分の成長と家族・家庭		○家族や家庭の機能と役割について理解する。 ・家族が果たしている役割や仕事には何があるか考える。	○家族・家庭の基本的な機能について理解している。 また、家族や地域の人々と協力・協働することの必要性を理解している。	○家族・家庭の機能と役割について考え表現している。	
自分の成長と家族・家庭	3年2	○家族・家庭の基本的な機能と役割を考えるとともに、地域の人々と協力して家庭生活を営むことの必要性を検討する。 ・家族で生活を送ることの意義を考える。	○自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり、家族・家庭の基本的な機能について理解している。また、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		
幼児の生活と家族	12.5	○幼児の発達の特徴、家族の役割を理解するとともに、どのようなかかわり合いをするべきか考える。 ・幼児の発達の特徴や幼児の生活の特徴について知り、子どもにとっての家族の役割を考える。	○幼児の発達と生活の特徴が分かるとともに、子供が育つ環境としての家庭の役割について理解している。 ○幼児にとっての遊びの意義や、幼児とのかかわり方について理解している。	○家族関係をよりよくする方法、高齢者など地域の人々とのかかわり協力・協働する方法について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどの中で、課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
家族・家庭や地域とのかかわり	3		○家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協力・協働する必要があること、介護など高齢者とのかかわり方について理解している。	○家族関係をよりよくする方法、高齢者など地域の人々とのかかわり協力・協働する方法について、問題を見出すとともに課題を設定し、解決の方向性を見出すとともに、実践を評価し、考察したことを論理的に表現するなどの中で、課題解決の工夫をする力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
家族・家庭生活についての課題と実践	(1)			○衣食住の生活に関する問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、衣食住の生活について課題の解決に主体的に(適切な場合には協働で)取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

《家庭分野》指導と評価の計画【B衣食住の生活】

《1・2・3年》



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食事の役割	2	○食事の役割と望ましい食習慣について理解する。 ・自分自身の食生活を振り返って課題を見つけ、改善策を考える。	○生活の中で食事が果たす役割について理解している。  ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。	○自分の食習慣について課題を見だし、解決策を考える力を身につけている。	○食事の役割や中学に必要な栄養の特徴を踏まえ、食生活における課題の解決に取り組もうとしている。
事栄養を満した必要食	4	○栄養の種類や食品の栄養的性質を理解するとともに、現在の自分に必要な栄養素の量がわかり、必要を満たす献立を立てられるようになる。 ・栄養の種類と概量、食品の栄養的特徴を知るとともに、必要量を満たす献立をつくる。	○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ○中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	○中学生である自分自身の1日分の献立について、問題を見出して課題を検討し、改善策を考えることができている。	○中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の発見や検討に主体的に取り組もうとしている。
日常食の調理と地域の食文化	17	○調理の基礎技能を基に、必要な栄養を満たすように調理の計画を立て、日常食等を調理することができる。 ・食品の安全と衛生、選択の方法についての理解をもとに、適切な方法を検討する。 ・食生活や調理における自らの課題を検討し、調理の計画立案と調理を通じて改善を図る。	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解している。 ○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解している。 ○材料に適した加熱調理の方法について理解している。 ○地域の食文化について理解している。 ○基礎的な日常食等の調理において、安全で衛生的な管理のもと、材料に適した調理を実践できる。	○調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想するとともに、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する中で、課題を解決する力を身につけている。	○よりよい生活の実現に向けて、日常食等の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりすることにより、生活を工夫・創造しようとしている。
衣服の選択と手入れ	9	○社会生活を送る上で求められる衣服の着用・選択と、個性を生かす着用・選択について考えられるようになる。 ・場面に合わせた衣服の着用と選択について例を考える。 ○衣服の状況に合わせた手入れを行い、活用できるようになる。 ・衣服の手入れの方法や活用の工夫について、事例を挙げて考える。	○衣服と社会生活とのかかわりについて、また目的に応じた着用、個性を生かす着用、および衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの方法について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し、改善の方向性を考え、考察したことを論理的に表現するなどで、課題を解決する力を身につけている。	○衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
布を用いたための製作	11	○目的に応じた材料の選択や、素材に合わせた縫い方を理解し、適切に製作できる。 ・素材に合った用具の取扱いを考えながら、布を用いた物を製作する。	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、適切に製作できる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画と製作において、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し改善の方向性を見出し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につけている。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
安住全居の住機能いと方	8	○住生活を快適で安全に送ることができるよう、住空間を整えることができるようになる。 ・住居の基本的機能や、住居における安全の確保について検討し、改善策を表現する。	○家族の生活と住空間とのかかわりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ○家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	○家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
衣食住の住課題の生活と実践	3	○衣食住の生活をよりよくすることができるようになる。 ・家族・家庭生活や消費生活・環境の視点を踏まえ、衣食住の生活についての課題を設定し、計画・実践・省察する。		○衣食住の生活に関する問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につけている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、衣食住の生活について課題の解決に主体的に(適切な場合には協働で)取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

〈家庭分野〉指導と評価の計画【C消費生活・環境】 《2・3年》



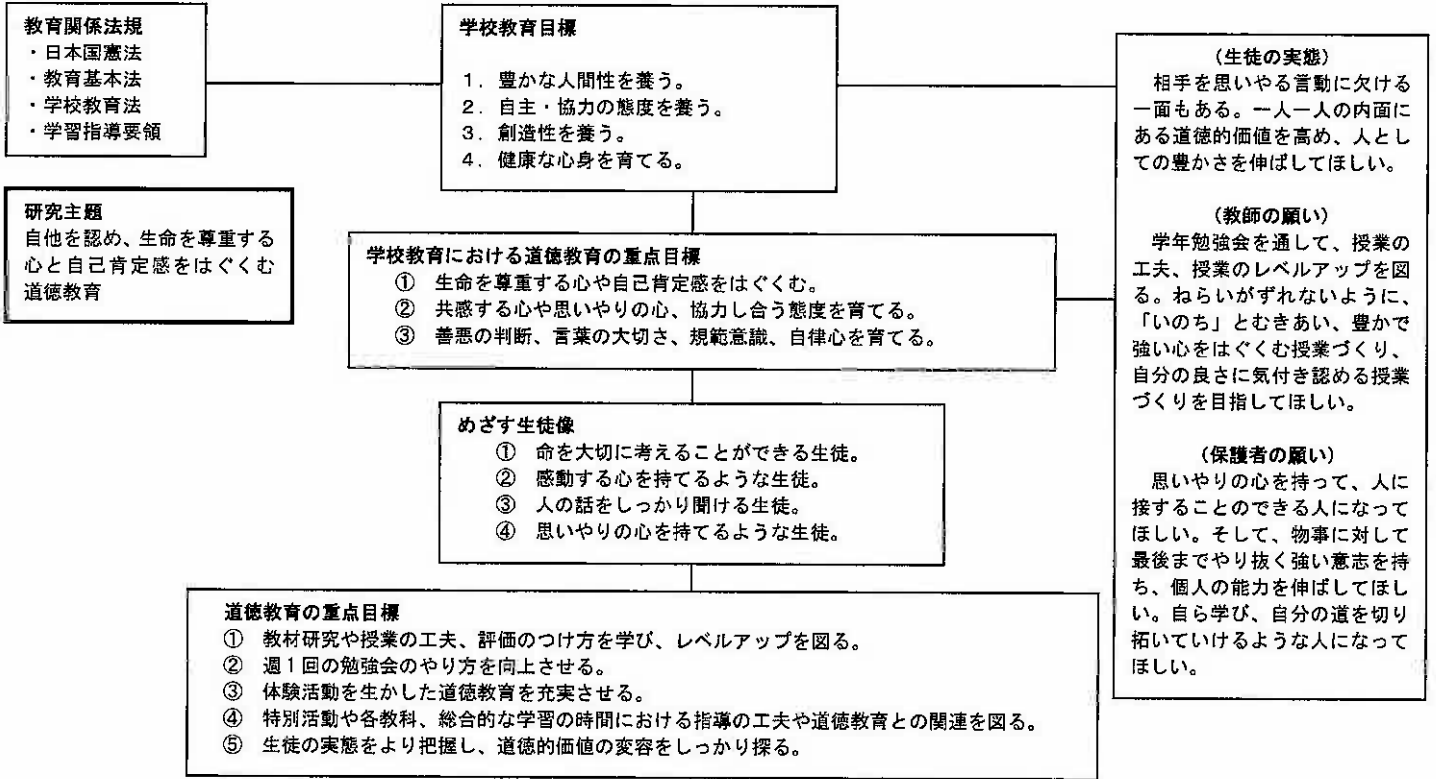
小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
金銭の 管理と 購入	8	○消費生活に不可欠な金銭の管理ができるようになるとともに、生活資源の管理に必要な情報収集と活用の視点を身につける。 ・売買契約や購入・支払方法についての理解を踏まえ、適切な入手等の方法について考える。	○購入方法や支払方法の特徴が分かるとともに、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ○売買契約の仕組み、消費者トラブルの背景や対応について理解している。物資・サービスの選択に必要な情報を活用し、選び方や買い方を工夫することができる。	○物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想することができる。	○金銭の管理と購入について、解決策の構想に主体的に取り組んだり、自分自身の消費生活と結びつけて考えたりしようとしている。
消費者の 権利と 責任	4	○責任ある消費生活を送るための視点を身に付け、自立した消費生活を送ることができるようになる。 ・消費者の権利と責任を果たせるような消費行動とはどのようなものか考える。	○消費者の基本的な権利と責任、また消費生活が環境や社会に与える影響について理解している。	○自立した消費者としてとるべき適切な消費行動について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現する中で、課題を解決する力を身に付けている。	○よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任についての課題解決に主体的に取り組んだり、改善策を考えようとしたりするなど、生活を工夫・創造・実践しようとしている。
消費生活・ 環境と 実践	(1)			○自分や家族の消費生活に関する問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、衣食住の生活について課題の解決に主体的に（適切な場合には協働で）取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

## 学級活動年間指導計画 (3 学年)

- 学級活動 1 学級や学校の生活づくり  
2 適応と成長及び健康安全  
3 学業と進路

目標 : 自らの手で進められる自主的で自律的な意識をもつ集団を目指す。

月	題 材	学級活動			生徒会	学校行	活 動 内 容
		1	2	3			
4	◇最上級生として	◎					・最上級生としての心構えや、抱負、希望を書いたり発表したりする。
	◇私たちの学級	◎			○		・学級内での委員や係を決める。 ・学級目標や約束事を決める。 ・日直や班活動の仕事の確認を行う。
	◇生徒会活動を理解しよう	◎			◎		・生徒一人ひとりが生徒会員であることを自覚する。 ・生徒会の組織や活動の内容を理解する。
	◇体育祭に向けて	◎	○		○	◎	・体育祭の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。 ・選手や応援団員を選出し、役割を決める。
	◇修学旅行に向けて	◎				◎	・修学旅行の目的地である京都、奈良の歴史や特徴を学習し、班でコースを計画する。
5	◇体育祭への参加と反省	◎	○		○	◎	・体育祭を振り返り、学級や個人の目標が達成できたかを考え、話し合う。
	◇教室環境を整えよう	◎					・教室内の掲示物についての作成計画を立て、実施する。 ・教室環境を整えるための具体的な方法や個々の役割について話し合う。
	◇中間テストに向けて			◎			・学習の仕方や計画の立て方を話し合い、自分自身の学習目標や、学習計画を立てる。
	◇生徒総会に向けて	◎			◎	○	・生徒総会の議案書の検討を行い、活動計画案や予算案などへの質問や意見を集約する。
6	◇修学旅行への参加	◎	○		◎	○	・京都や奈良の歴史にふれ、仲間と協力して取り組む。
	◇修学旅行のまとめ	◎			◎	◎	・修学旅行の成果と反省をスライドにまとめ、発表する。
	◇合唱コンクールに向けて	◎			○	◎	・合唱コンクールの意義や目的を知る。選曲。
7	◇進路と生活			◎			・高校見学や体験入学を行うにあたっての注意事項を確認する。
	◇夏休みの計画と過ごし方	○	○	○			・学習や部活動、家庭や地域での活動など、有意義な生活ができるよう計画を立てる。
8	◇夏休みを振り返って	○	○	○			・しおりをもとに、これからの学習や生活のめあてを持つ。
9	◇緊急時の対応	○	◎			◎	・地震災害などの非常時を想定し、対処方法を考える。
	◇文化祭に向けて	◎			○	◎	・文化祭の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
	◇期末テストに向けて			◎			・学習目標や計画を立てる。
	◇生徒会役員選挙	◎			◎	◎	・立会演説会等の選挙活動に関わり、生徒会本部役員にふさわしい候補者を選ぶ。
10	◇学期のまとめと反省	◎		○			・前期の振り返りを行い、学級や個人の成果と反省を考える。
	◇学級組織の再編成	◎			○		・前期の活動を振り返り、2学期の委員や係を決める。
	◇合唱コンクールへ向けて	◎				◎	・合唱コンクールの意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
	◇文化祭への参加と反省	◎			○	◎	・しおりや反省用紙をもとに、文化祭の目的がどれだけ達成できたかを話し合う。
	◇学級活動の見直し	◎			○		・班や係活動を見直し、学級をさらに向上させるための話し合いを行う。
11	◇合唱コンクールへの参加と反省	◎			○	◎	・しおりや反省用紙をもとに、合唱コンクールの目的がどれだけ達成できたかを話し合う。
	◇中間テストに向けて			◎			・学習目標や計画を立てる。
	◇進路と生活			◎			・進路についての考え方、選択についての手順などを確認し、進路選択に臨む。
12	◇進路と生活			◎			・自分たちの進路を決定する。
	◇受験期の生活	○		◎			・自分たちの持つ不安や悩みを出し合い、お互いにアドバイスしあう。
	◇1年間の振り返りと冬休みの過ごし方	○	○	○			・1年を振り返り、自分自身の課題や反省点について、発表したり、書いたりする。
1	◇新しい年を迎えて	○	○	○			・新年の抱負を発表したり、掲示物として作成したりする。
	◇進路と生活	○		◎			・面接などの準備を行う。
2	◇期末テストに向けて			◎			・1年間の学習を振り返り、目標・計画を立てる。
	◇3年生を送る会に向けて	○				◎	・3送会の企画を検討し、会の準備を行う。
	◇生徒総会に向けて	◎			◎	○	・1年間の生徒会活動を振り返り、次年度の生徒会活動の向上させるための話し合いを行う。
	◇進路と生活			◎			・中学校生活の3年を振り返り、友人や保護者、先生などに感謝の気持ちを持つ。
	◇卒業式に向けて	○				◎	・中学校の大きな節目の式典にふさわしい気持ちと態度で参加する。 ・卒業生として、保護者や在校生に今までの協力への感謝の気持ちを伝える方法を考え、話し合う。
3	◇今年度を振り返って	○	○	○			・1年間の振り返りを行い、成果と反省を見出し、発表する。



学年ごとの重点目標

1学年目標	2学年目標	3学年目標	特別支援目標
<p>＜学年目標＞</p> <p>◎自主・自律・自浄・自治を目指し、失敗を恐れずに挑戦できる学年</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (1) 自主、自律、自由と責任 B- (9) 相互理解、寛容 C- (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>＜学年目標＞</p> <p>◎自ら考え、よりよい行動ができる学年</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (1) 自主、自律、自由と責任 B- (9) 相互理解、寛容 C- (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>＜学年目標＞</p> <p>◎気づき考え行動できる学年</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (3) 向上心、個性の伸長 B- (9) 相互理解、寛容 C- (13) 勤労 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>＜学級目標＞</p> <p>一人ひとりの主体性や充実感を大切に、たくましく生きていける力を育成する。</p> <p>＜重点項目＞</p> <p>A- (1) 自主・自律・自由と責任 B- (7) 礼儀 C- (13) 勤労 D- (22) よりよく生きる喜び</p>

教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間・領域外	家庭地域社会
<p>国語 基礎学力の定着と主体的に取り組むための指導の工夫</p> <p>社会 集団や社会への関心と、その一員としての自覚を育む生徒の育成</p> <p>数学 生徒の主体的な活動を通して、基礎・基本の定着を図り、深い学びを目指す授業</p> <p>理科 科学的な見方・考え方を育てるための学習内容と考え、深い学びにつながる授業の工夫</p> <p>音楽 音楽の良さや美しさを味わい、思いをもって豊かに表現する生徒を育てる</p> <p>技・家 学ぶ意欲を伸ばすための学習指導の充実</p>	<p>美術 表現や鑑賞の活動を通して造形的な視点を豊かにする工夫</p> <p>外国語 自分の考えをもち、学び合いの中で発信しながら、お互いに認め合い、自己肯定感を高められる授業づくり</p> <p>保健体育 見方・考え方を働かせ、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指すための資質や能力を育てる学習指導と評価の工夫</p> <p>体育 見方・考え方を働かせ、生涯にわたって運動に親しみ豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育てる学習指導と評価の工夫</p>	<p>道徳の時間は、全領域で行われる道徳教育との関連を図り、要となり、系統的に、深化・補充・統合する。また、道徳の時間は、資料および地域の方々との協力してもらい、年間計画に沿ってねらいの重点化を図りつつ、指導目標を達成する。</p> <p>・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。</p> <p>・相手の立場に立って考えたり、思いやりのある行動ができたことなどの好ましい人間関係を育て、所属感・存在感のある学級活動が図れるようにする。</p> <p>・道徳性の高揚を目指し、生徒が自ら考え、正しい判断のもとに責任を持って行動できるようにする。</p>	<p>・社会の一員として、自立して生きる力を育てる。</p> <p>・あらゆる体験活動を通して豊かな心を持つ生徒を育てる。</p> <p>・体験活動を日常のすべての体験に生かすことのできる指導を工夫する。</p> <p>・保護者・地域の方々との連携を図りながら、充実した道徳の授業を実践する。</p> <p>・全教育活動を通して道徳的価値を見いだせるように工夫する。</p>	<p>・地域の行事などを通して、社会連帯の自覚が高まるように、協力する。</p> <p>・保護者・地域との連携を密にして学校教育の目標達成のための協力を得る。</p>

道徳実践の場  
学級経営

## 第3学年 総合的な学習の時間 年間計画

目指す生徒の姿：社会の一員として、必要とされ、自分自身のキャリアプランを描ける生徒

今年度は地域学習と自己の生き方学習を進めます。

月	時数	学習内容・ねらい	観点			キャリア在り方生き方教育の観点				SDGs
			知	思	主	人	自	課	キャ	
4	6	○オリエンテーション ・今年度の学習の見直しをもつ。	○		○				○	
5	16	○京都の知られざる穴場を探究する。 ・京都修学旅行に向けて、京都の知られざる魅力を探究できるテーマを決め、ルートを探そう。			○	○			○	
6		○事後学習 ・修学旅行のテーマをスライドでまとめよう。								
7	4	○自分の生き方を考えよう① ・様々な大人から話を聞き、自分のキャリアプランを考えよう。	○		○	○	○		○	
9	6	○自分の生き方を考えよう② ・自己を分析し、自分の適性を考え、社会に必要とされる人材とは何かについて考える。								
10	7	○自分の生き方を考えよう③ ・学んだことをいかして、今後のキャリアプランを考えよう。								
11	7	・パーソンルキャリアの方から講演								
12	8	○地域に貢献できることは何か①。 ・卒業期に向け地域に貢献できることを考えよう。	○			○			○	
1	6	○地域に貢献できることは何か② ・								
2	10	○今まで支えてくれた地域の方に感謝を伝えよう。 ・今までに考えた案を実践しよう。								

観点：知＝知識及び技能、思＝思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

キャリア在り方生き方教育の視点：人＝人間関係形成・社会形成能力 自＝自己理解・自己管理能力 課＝課題対応能力 キャ＝キャリアプランニング能力